

第2次宇都宮都市交通戦略 施策事業評価表1

1. 施策の目的と目標

□基本方針	1. 多様な交通手段を「つくる」	□目的	市民や来訪者など誰もが移動しやすく、また、災害の発生時などにおいても移動手段が確保された利便性が高く災害にも強い都市づくりを進めるため、都市のコンパクト化などのまちづくりの取組と連携しながら、各地域の特性に応じて、鉄道やLRT、バス路線、地域内交通など多様な公共交通の充実を図るとともに、幹線道路や自転車走行空間、歩行空間などの整備を進める。			
□施策の体系	(1) 多様な公共交通を充実させる (2) 公共交通や自動車が円滑に通行できる幹線道路等を整備する		(3) 自転車や歩行者が快適に移動できる環境を整備する			
□目標指標	指標名	基準数値 (a) (基準年)	数値 (b) (評価年)	目標数値 (c) (目標年)	進捗状況 (%) 基準年(a/c) ⇒ 評価年(b/c)	進捗評価
	① 公共交通夜間人口カバー率	89.8% (H29年度末)	91.9% (R1年度末)	100.0% (R10年度末)	89.8% ⇒ 91.9%	着実に増加している
	② 都市計画道路の整備率	71.2% (H29年度)	71.5% (※70.8%) (H30年度)	72.7% (R4年度)	97.9% ⇒ 98.3% (※97.9% ⇒ 97.4%)	着実に進捗している (※H30年の都市計画決定により新たに未整備となった区間を含む率)
	③ 自転車走行空間の整備延長	40.0km (H29年度)	49.9km (R1年度)	72.1km (R4年度)	55.5% ⇒ 69.2%	着実に増加している

2. 重点事業の実施状況と評価

(凡例) ◎:予定どおりに実施 ○:おおむね予定どおりに実施 (一部未完了) △:一部未実施

施策事業名	事業主体	H30年度(前計画)実施状況	R1年度当初予定	R1年度実施状況	R1年度評価(◇成果◆課題)	R2年度当初予定
1-1-1-① LRTの導入	交通事業者 宇都宮市	<p>【駅東側】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ LRTの整備工事等 ⇒ 鬼怒川橋りょう工事、車両基地工事、高架区間工事等</li> <li>⇒ 用地測量、用地取得の実施</li> <li>○ 車両デザインの決定・公表</li> <li>○ 車両設計認可取得</li> <li>○ 運賃収受方法の検討</li> <li>○ 各委員会・部会の開催</li> </ul> <p>【駅西側】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ LRTの事業化に向けた検討 ⇒ LRT整備の概要案の公表 ⇒ 地元商店街等への説明、意見交換の実施</li> <li>○ JR宇都宮駅交差区間の横断ルート決定</li> </ul> <p>【市民理解促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ LRT事業に関する情報発信等 ⇒ オープンスクエア等の運営 ⇒ 住民・企業等への説明会の実施 ⇒ 広報紙やHP等による情報発信 ⇒ LRT体験見学会の実施(富山市)</li> </ul>	<p>【駅東側】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ LRTの整備工事等 ⇒ 軌道工事等の実施 ⇒ 車両の製造 ⇒ 用地取得の実施</li> <li>○ 運賃収受方法の検討</li> <li>○ 各委員会・部会の開催</li> <li>○ 運営体制の構築</li> </ul> <p>【駅西側】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ LRTの事業化に向けた検討 ⇒ 導入方策等検討調査の実施</li> </ul> <p>【市民理解促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ LRT事業に関する情報発信等 ⇒ オープンスクエア等の運営 ⇒ 広報紙やHP等による情報発信 ⇒ LRT体験見学会の実施 ⇒ 工事現場見学会の実施 ⇒ 停留場壁面個性化の検討</li> </ul>	<p>【駅東側】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ LRTの整備工事等 ⇒ 鬼怒川橋りょう工事、車両基地工事、鬼怒川周辺の構造物工事等</li> <li>⇒ 車両製造に必要な部品の調達等</li> <li>⇒ 用地取得の実施</li> <li>○ 停留場の名称等の検討</li> <li>○ 運賃収受方法の検討 ⇒ ICカードによる信用乗車方式</li> <li>○ 運転士の採用・養成</li> </ul> <p>【駅西側】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ LRTの事業化に向けた検討 ⇒ 地元商店街等との意見交換の実施 ⇒ 「交通結節点等基盤整備部会」を設置し、大通りの道路空間の再編や交通結節点などの技術的な検討の実施 ⇒ 「LRTまちづくり部会」を設置し、「LRT沿線のまちづくりの方針」の検討</li> </ul> <p>【市民理解促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 双方向の取組 ⇒ オープンスクエアの運営等</li> <li>○ 幅広い情報発信 ⇒ SNS等を活用した情報発信 ⇒ LRTの乗り方や導入後の交通ルールに関するチラシの配布</li> <li>○ 市民参加・体験型の取組 ⇒ LRT体験見学会(富山市:35/39地区) ⇒ 工事現場見学会の実施</li> </ul>	<p>【駅東側】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇鬼怒川橋りょうや車両基地などの大規模な工事に取り組むとともに、LRTの車両製造に向けて、部品の調達等に取り組むなど、開業に向けた整備工事等を着実に推進している。</li> </ul> <p>【駅西側】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇事業化に向けて、地元商店街等との意見交換を行うとともに、「交通結節点等基盤整備部会」を設置し、大通りの道路空間再編や交通結節点等について技術的な検討を推進している。</li> <li>◇また、「LRTまちづくり部会」を設置し、LRT沿線の将来ビジョンを共有しながら、官民一体となってまちづくりに取り組めるよう「LRTまちづくり方針」の検討を推進している。</li> </ul> <p>【市民理解促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇オープンスクエア運営等の「双方向の取組」やSNS等を活用した「幅広い情報発信」に加え、工事現場市民見学会の開催などの「参加・体験型の取組」を着実に進めることで、事業への市民理解の深化が図られている。</li> </ul> <p>◎</p> <p>【駅東側】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆LRTの開業に向けて、引き続き、鬼怒川橋りょうや車両基地などの大規模な工事を着実に進めるとともに、円滑な工事等の推進に向けて、適宜、関係機関等と協議・調整を図る必要がある。</li> </ul> <p>【駅西側】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆事業化に向けて、道路空間再編や交通結節点等の整備内容をより具体化していくため、関係機関等との協議・調整や専門部会における議論を行いながら検討を進めていく必要がある。</li> </ul> <p>【市民理解促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆LRT整備が本格化を踏まえ、引き続き、膝を交えた「双方向の取組」と「幅広い情報発信」に取り組むとともに、市民が事業に参加し、一緒に作りあげていく「参加・体験型」の取組を積極的に実施していくことで、更なる市民理解の促進と機運醸成を図る必要がある。</li> </ul>	<p>【駅東側】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ LRTの整備工事等 ⇒ 軌道工事等の実施 ⇒ 車両の製造 ⇒ 用地取得の実施</li> <li>○ 停留場の名称等の検討</li> <li>○ 運営体制の構築</li> <li>○ 各種割引施策等の検討</li> </ul> <p>【駅西側】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ LRTの事業化に向けた検討 ⇒ 整備区間の決定 ⇒ 「軌道運送高度化実施計画」の素案となる「事業化計画」の作成</li> </ul> <p>【市民理解促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 双方向の取組 ⇒ オープンスクエア等の運営</li> <li>○ 幅広い情報発信 ⇒ 広報紙やHP等による情報発信</li> <li>○ 市民参加・体験型の取組 ⇒ 工事現場見学会の実施 ⇒ 停留場壁面個性化の取組 ⇒ LRT車両の愛称募集</li> </ul>

施策事業名	事業主体	H30年度(前計画)実施状況	R1年度当初予定	R1年度実施状況	R1年度評価(◇成果◆課題)	R2年度当初予定
1-(1)-② バス路線の充実	交通事業者 宇都宮市	<p>【バス路線の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○今宮線の雀宮駅への延伸(4/1～)</li> </ul> <p>【駅東側バス再編】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市民・企業等への説明等 ⇒ 再編に関する各連合自治会対象の地区別説明会の実施 ⇒ LRT沿線工業団地企業へのヒアリング調査の実施</li> <li>○周辺自治体等との協議・調整 ⇒ 広域路線の運行経路・運行本数等の検討</li> <li>○再編案の検討 ⇒ ヒアリング調査結果等を踏まえた運行経路・運行本数等の検討</li> </ul> <p>【駅西側バス再編】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市民等への説明 ⇒ 将来イメージに関する各連合自治会対象の地区別説明会の実施</li> <li>○再編案の検討 ⇒ 住民意見等を踏まえた運行経路や運行時間帯の見直しの検討</li> </ul>	<p>【駅東側バス再編】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○周辺自治体等との協議・調整 ⇒ 広域路線の運行経路・運行本数等の検討</li> <li>○再編後の路線の維持方策の検討</li> <li>○地域公共交通再編実施計画(素案)の作成</li> </ul> <p>【駅西側バス再編】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○将来の公共交通ネットワークイメージの具体化</li> </ul>	<p>【バス路線の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市内循環バス「きぶな」の双方向運行の実施(5/18～)</li> </ul> <p>【駅東側バス再編】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○企業等との意見交換 ⇒ LRT周辺企業や教育機関へのヒアリングの実施</li> <li>○周辺自治体等との協議・調整 ⇒ 広域路線の運行経路・運行本数等の検討</li> <li>○再編後の路線の維持方策の検討 ⇒ 再編初期期のリスク対応策の検討</li> <li>○地域公共交通再編実施計画(素案)の作成</li> </ul> <p>【駅西側バス再編】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○将来の公共交通ネットワークイメージの具体化 ⇒ 再編後の駅西口バス乗り場の必要規模等の検討</li> </ul>	<p>【バス路線の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇市内循環バス「きぶな」の運行内容の見直しにより、運行本数は減少したものの、双方向運行の実現により、市民や来訪者などの中心市街地における回遊性を確保している。</li> </ul> <p>【駅東側バス再編】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇再編後の路線の維持方策の検討などに不測の日数を要したため、若干の遅れているものの、LRT周辺企業等の意見などを踏まえつつ、周辺市町とも協議・調整しながら、再編後の運行経路や運行本数等を含む「地域公共交通再編実施計画(素案)」を作成するなど、再編の実施に向けた検討を着実に推進している。</li> </ul> <p>【駅西側バス再編】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇駅西側の再編を見据え、JR宇都宮駅西口の再整備に向けた駅西口バス乗り場の検討を行うなど、将来の公共交通ネットワークイメージの具体化が進められている。</li> </ul> <p>○【バス路線の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆既存バス路線について、道路環境などの地域特性や住民のニーズ等を踏まえ、必要に応じて運行内容を見直すなど、利便性向上を図る必要がある。</li> </ul> <p>【駅東側バス再編】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「地域公共交通再編実施計画」の策定に向けて、交通事業者や周辺自治体などの関係機関と連携しながら、再編後の路線の維持方策を含めた運行内容の検討を深める必要がある。</li> </ul> <p>【駅西側バス再編】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆LRTの駅西側への延伸を見据え、LRTの整備区間などの検討状況を踏まえながら、LRT導入後のバスの運行経路や運行本数等の検討を行うなど、将来の公共交通ネットワークイメージの更なる具体化を図る必要がある。</li> </ul>	<p>【駅東側バス再編】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○再編後の路線の維持方策の検討</li> <li>○周辺自治体等との協議・調整</li> <li>○地域公共交通再編実施計画の策定</li> </ul> <p>【駅西側バス再編】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○将来のネットワークイメージの具体化</li> </ul>
1-(1)-③ 地域内交通の充実	地域の運営組織等 宇都宮市	<p>【一部未導入地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域住民の意識醸成、意見交換、意向把握の取組 ⇒ 住民説明会の実施(清原地区・雀宮地区)</li> </ul> <p>【導入済み地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○運行の効率化、利便性向上、利用促進の取組 ⇒ 目的施設の追加(瑞穂野地区など11地区) ⇒ 地域行事に合わせた臨時運行(瑞穂野地区など11地区) ⇒ 路線バスとの連携強化に向けた意見交換の実施</li> </ul>	<p>【一部未導入地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域住民の意識醸成、意見交換、意向把握の取組 ⇒ 具体的な運行内容の検討</li> </ul> <p>【導入済み地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○運行の効率化、利便性向上、利用促進の取組 ⇒ 路線バスとの連携強化に向けた関係機関との協議・調整</li> </ul>	<p>【一部未導入地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域住民の意識醸成、意見交換、意向把握の取組 ⇒ 具体的な運行内容の検討(清原地区・雀宮地区)</li> </ul> <p>【導入済み地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○運行の効率化、利便性向上、利用促進の取組 ⇒ 目的施設の追加(瑞穂野地区など12地区) ⇒ 選挙投票日に合わせた臨時運行(全13地区) ⇒ 地域行事に合わせた臨時運行(瑞穂野地区など10地区) ⇒ 路線バスとの連携強化に向けた待合環境の整備(豊郷地区)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇一部未導入の自治会が存在する地区において、導入自治会が増加し、公共交通空白地域の解消が図られるとともに、導入済みの地区においても、目的施設を追加するなど、利用者の利便性向上が図られている。</li> <li>◇路線バスとの乗り継ぎポイントとなるバス停にバス接近表示機を設置するなど、待合環境の向上が図られ、地域内交通とバスを乗り継いだ移動の利便性が向上している。</li> </ul> <p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆公共交通空白地域の解消に向けて、引き続き、一部未導入の自治会が存在する地区において導入自治会の拡大に取り組むとともに、導入済みの地区における持続的な運行に向けて、適宜、目的施設を追加するなど、利便性の向上と利用促進に取り組む必要がある。</li> </ul>	<p>【一部未導入地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域住民の意識醸成、意見交換、意向把握の取組</li> <li>○具体的な運行内容の検討</li> </ul> <p>【導入済み地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○運行の効率化、利便性向上、利用促進の取組</li> </ul>
1-(1)-④ 市街地部における生活交通の確保	地域の運営組織等 宇都宮市	<p>【導入に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域住民の意識醸成・意向把握 ⇒ アンケート調査の実施(峰地区) ⇒ 住民説明会の実施(明保地区など3地区)</li> <li>○具体的な運行内容の検討 ⇒ 検討組織の設置(峰地区・陽東地区) ⇒ 運行形態等の検討(石井地区)</li> </ul>	<p>【導入に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域住民の意識醸成・意向把握 ⇒ 具体的な運行内容の検討</li> </ul>	<p>【導入に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域住民の意識醸成・意向把握 ⇒ アンケート調査の実施(峰地区) ⇒ 住民説明会の実施(細谷・上戸祭地区)</li> <li>○具体的な運行内容の検討 ⇒ 検討組織の設置(峰地区・明保地区) ⇒ 運行計画の策定・許可申請(石井地区)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇石井地区における定時定路方式・デマンド方式の2路線による新たな生活交通の導入について、運行計画の調整に不測の日数を要したことから運行開始時期が若干遅れているものの、令和2年4月の運行開始に向けた準備に取り組むとともに、その他の検討意向のある地区において、アンケートや説明会を実施するなど、機運の醸成に努めている。</li> </ul> <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆試験運行を実施する石井地区において、本格運行に向けた利用促進や運行の効率化に取り組む必要がある。</li> <li>◆検討意向のある地区において、引き続き、地域の実情に応じて、既存公共交通との役割分担を踏まえながら、導入に向けた機運醸成や検討の推進を図る必要がある。</li> </ul>	<p>【導入に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域住民の意識醸成・意向把握</li> <li>○具体的な運行内容の検討</li> <li>○試験運行の実施(石井地区) ⇒ 利用促進・運行の効率化</li> </ul>

施策事業名	事業主体	H30年度(前計画)実施状況	R1年度当初予定	R1年度実施状況	R1年度評価(◇成果◆課題)	R2年度当初予定
1-(2)-① 都市計画道路の整備	栃木県 宇都宮市	○用地取得・整備工事 ⇒大通り(桜・駒生) 宇都宮水戸線(築瀬) 国道119号線(宇都宮環状北道路) 国道408号線(真岡宇都宮バイパス) 産業通り(陽南・陽東) 宇都宮日光線(一条) 鶴田宝木線(鶴田町・西川田町) 宇大東南通り(宇大1・宇大2地区) 駅西中央通り(岡本駅西地区) 昭和通り(鶴田第2地区) 鶴田沼線(鶴田第2地区)	○用地取得・整備工事 ⇒大通り(桜・駒生) 宇都宮水戸線(築瀬) 国道119号線(宇都宮環状北道路) 国道408号線(真岡宇都宮バイパス) 産業通り(陽南・陽東・宇大2地区) 宇都宮日光線(一条) 鶴田宝木線(鶴田町・西川田町) 宇大東南通り(宇大1・宇大2地区) 駅西中央通り(岡本駅西地区)	○用地取得・整備工事 ⇒大通り(桜・駒生) 宇都宮水戸線(築瀬) 国道119号線(宇都宮環状北道路) 国道408号線(真岡宇都宮バイパス) 産業通り(陽南・陽東・宇大2地区) 産業通り(陽東) 宇都宮日光線(一条) 鶴田宝木線(鶴田町・西川田町) 宇大東南通り(宇大1・宇大2地区) 駅西中央通り(岡本駅西地区)	◇用地補償に不測の日数を要したため、一部遅れが生じているものの、道路改良や交差点部の立体化工事などを着実に推進することにより、渋滞の緩和など、道路交通の円滑化が図られている。  ◆ネットワーク型コンパクトシティの形成やLRTの導入を見据え、拠点間を結ぶ道路やLRT沿線の道路、交通結節点にアクセスする道路などの優先度の高い路線の整備に重点化を図りながら、都市計画道路の整備に取り組む必要がある。  ○	○用地取得・整備工事 ⇒大通り(桜・駒生) 宇都宮水戸線(築瀬) 国道119号線(宇都宮環状北道路) 国道408号線(真岡宇都宮バイパス) 産業通り(陽東・宇大2地区) 宇都宮日光線(一条) 鶴田宝木線(鶴田町・西川田町) 宇大東南通り(宇大2地区) 駅西中央通り(岡本駅西地区) 岡本駅西線(岡本駅西地区) 内野線(岡本駅西地区)
1-(2)-② スマートインターチェンジの整備	宇都宮市		【(仮称)大谷スマートIC】 ○都市計画事業認可の取得 ○用地関連業務委託 ○用地取得	【(仮称)大谷スマートIC】 ○都市計画事業認可の取得(9月) ○用地関連業務委託 ○用地取得	◇(仮称)大谷スマートインターチェンジについて、用地取得に不測の日数を要したため、若干遅れているものの、都市計画事業認可を取得するなど、整備工事の実施に向けた手続き等を着実に推進している。  ○  ◆(仮称)大谷スマートインターチェンジの円滑な事業の実施に向けて、関係機関と連携しながら、計画的な整備工事の推進を図る必要がある。	【(仮称)大谷スマートIC】 ○用地取得・整備工事
1-(3)-① 自転車走行空間や歩行空間の整備	宇都宮市	○自転車専用通行帯の整備 ⇒競輪場通りなど3路線(約0.9km) ○矢羽根型路面表示の整備 ⇒市役所前通りなど9路線(約4.9km)	○自転車専用通行帯 ⇒陽南通りなど2路線(約0.7km) ○矢羽根型路面表示 ⇒柳田街道など3路線(約2.0km)	○自転車専用通行帯 ⇒陽南通りなど2路線(約1.1km) ○矢羽根型路面表示 ⇒柳田街道など5路線(約3.1km)	◇他の道路整備事業と併せて自転車走行空間を整備することで、当初予定を上回る区間の整備がなされるなど、安全で快適な自転車利用環境の整備が着実に推進されている。  ◎  ◆自転車利用の更なる安全性・利便性向上に向けて、連続性に配慮しながら、自転車走行空間の整備を継続的に推進する必要がある。	○矢羽根型路面表示 ⇒市道6378号線など6路線(約2.4km)
1-(3)-② シェアサイクルの充実	宇都宮市	【レンタサイクル】 ○利用実態に基づく各駐輪場の設置台数の調整 ○中心市街地のイベント開催時における使用料の減免(100円) ○貸出場所の増設に向けた企業ヒアリングの実施  【シェアサイクル】 ○導入に向けた情報収集 ⇒先進事例調査・企業ヒアリング等の実施	【レンタサイクル】 ○レンタサイクルの新設の検討 ⇒中央1丁目自転車駐車場 ○使用料見直しの検討 ⇒電動アシスト付自転車の見直しの検討  【シェアサイクル】 ○導入に向けた情報収集等 ⇒先進事例等の調査	【レンタサイクル】 ○中央1丁目自転車駐車場におけるレンタサイクルの実施 ○電動アシスト付自転車の使用料値下げ(300円⇒100円)  【シェアサイクル】 ○導入に向けた情報収集等 ⇒レンタサイクル利用者に対するアンケート調査の実施、課題整理	◇東武宇都宮駅東自転車駐車場の閉鎖に伴い、中央1丁目自転車駐車場におけるレンタサイクルを開始するなど利便性の向上により、レンタサイクルの利用者数は増加傾向にある。 ◇シェアサイクルについて、レンタサイクル利用者に対して、利用状況や使い勝手などのアンケート調査を実施し、導入に向けた課題整理を行うなど、シェアサイクルの導入可能性の検討が推進されている。  ◎  ◆レンタサイクルの利用実態や利用者のニーズなどを踏まえ、必要に応じて、設置台数や開設時間などの運営の見直しを図るなど、レンタサイクルの更なる利便性向上について検討する必要がある。 ◆中心市街地等の回遊性向上に加え、LRTやバス停からのラストマイルを支える交通手段として、引き続き、シェアサイクルの導入可能性について検討する必要がある。	【レンタサイクル】 ○開設時間延長の検討 ○各駐輪場における設置台数の最適化の検討  【シェアサイクル】 ○他事業との連携したシェアサイクルの導入可能性の検討

### 3. 施策の評価

#### <1-1>多様な公共交通を充実させる

##### 〔成果〕

・地域内交通の一部未導入地区における導入自治会の拡大により、郊外部における公共交通空白地域が減少するとともに、市内循環バス「きぶな」の運行内容の見直しにより、運行本数は減少したものの、双方向化により中心市街地の回遊性を確保するなど、市民や来訪者の移動利便性の維持・向上が図られている。

・LRTの整備やバス路線再編の検討など、基幹・幹線公共交通の充実に向けた取組の推進に加え、市街地部である石井地区において、新たな生活交通の運行開始に向けた準備に取り組むなど、需要や地域特性に応じた多様な公共交通の充実に向けた取組が着実に進捗している。

##### 〔課題〕

・高齢化の進行などを踏まえ、誰もが移動しやすい交通環境を構築するため、LRTの導入やバス路線の再編・充実に加え、これらの公共交通を補完する交通手段として、郊外部における地域内交通の拡充や道路狭隘地区などの市街地部における生活交通の確保など、日常生活の足となる多様な公共交通の更なる充実を図る必要がある。

#### <1-2>公共交通や自動車が円滑に通行できる幹線道路等を整備する

##### 〔成果〕

・地域高規格道路や主要地方道、幹線道路の道路改良や交差点の立体化により、交通渋滞が緩和するなど、道路交通の円滑化や安全性・利便性の向上が図られている。

##### 〔課題〕

・ネットワーク型コンパクトシティの形成やLRTの導入を見据え、拠点間の連携強化や自動車交通の適切な分散が図られるよう、優先化・重点化を図りながら、公共交通や自動車の円滑な運行に資する幹線道路等の整備に効果的に取り組む必要がある。

#### <1-3>自転車や歩行者が快適に移動できる環境を整備する

##### 〔成果〕

・自転車専用通行帯や矢羽根型路面表示の整備により、自転車利用者の利便性が向上するとともに、歩行者と自転車の通行帯が分離されることで、歩行者の安全性向上も図られている。

・既存自転車駐輪場の廃止に伴う近隣へのレンタサイクルの新設とともに、利用しやすい料金体系への見直しなどにより、レンタサイクルの利用環境の維持・向上が図られている。

##### 〔課題〕

・自転車利用者などの更なる安全性・利便性向上に向けて、道路環境に応じた自転車走行空間の整備に継続的に取り組む必要がある。

・中心市街地の回遊性向上や公共交通の末端交通手段として、ICTを活用したシェアサイクルの導入について検討する必要がある。

### 4. 施策の方針

#### <1-1>多様な公共交通を充実させる

・公共交通ネットワークの基軸となるLRTについて、引き続き、駅東側の優先整備区間における整備工事等の着実な推進に努めるとともに、駅西側における事業化に向けて、導入効果をより一層高めるため、沿線のまちづくりと連携を図りながら、「軌道運送高度化実施計画」の素案となる事業化計画の作成に取り組む。

・バス路線について、引き続き、道路環境や利用者のニーズの変化を捉えながら、既存路線の利便性向上に取り組むとともに、LRTの導入を見据え、LRTと連携した効率的で利便性の高いバス路線を構築するため、市と交通事業者が一体となってバス路線の再編に取り組む。

・郊外部における地域内交通について、引き続き、一部未導入地区における導入自治会の拡大等に取り組むとともに、市街地部において、既存公共との役割分担を踏まえながら、人口や施設の集積状況、道路環境などの地域特性に応じた生活交通の確保に取り組む。

#### <1-2>公共交通や自動車が円滑に通行できる幹線道路等を整備する

・ネットワーク型コンパクトシティの形成に向けて、拠点間を結ぶ道路ネットワークの構築に取り組むとともに、LRTの導入を見据え、LRT沿線や交通結節点にアクセスする道路などの優先度の高い路線の整備に重点化を図りながら、幹線道路等の整備に取り組む。

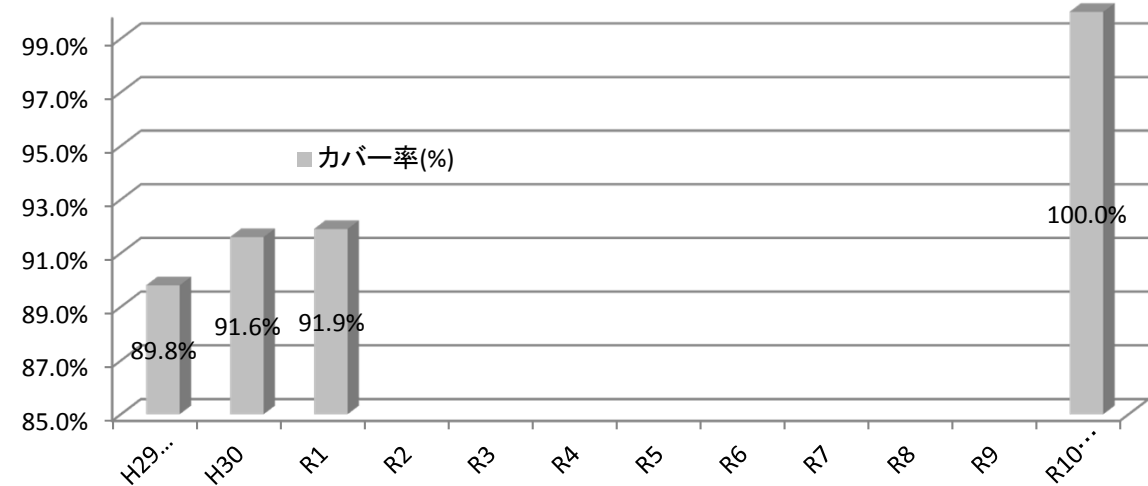
#### <1-3>自転車や歩行者が快適に移動できる環境を整備する

・自転車利用者などの安全性・利便性の更なる向上に向けて、引き続き、自転車走行空間の連続性の確保に配慮しながら、道路環境に応じて、自転車専用通行帯や矢羽根型路面表示の整備に取り組む。

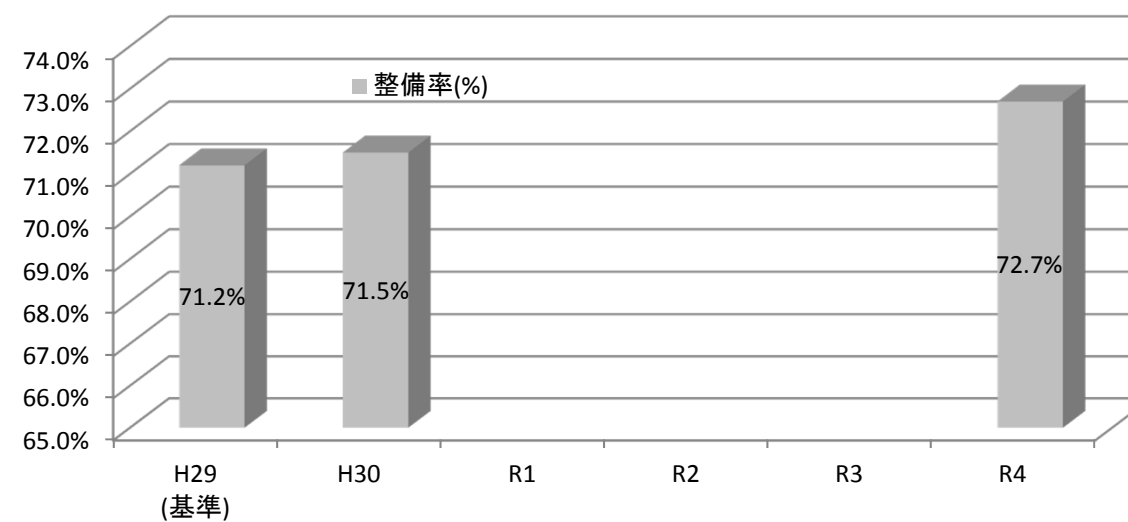
・中心市街地における来訪者の移動手段として、また、LRT停留場やバス停留所から目的地までのラストマイルを支える交通手段として、引き続き、先進事例などを参考にしながら、ICTを活用したシェアサイクルの導入可能性について検討を進める。

※ 施策の評価及び施策の方針については、本資料及び別紙1-5「具体的な施策事業個票」に基づき作成

基本方針1-① 公共交通の夜間人口カバー率



基本方針1-② 都市計画道路の整備率



基本方針1-③ 自転車走行空間の整備延長

